

外国樹種見本林で一般社団法人旭川林業土木協会会員などによるボランティア活動行われました。

6月6日（木）、嵐山・神居自然休養林内にある外国樹種見本林内において、旭川林業土木協会が設立70周年を記念してアカエゾマツ10本を植樹したほか、「社会貢献の森における森林整備活動に関する協定」に基づき、一般社団法人旭川林業土木協会会員など約120名が参加して時折小雨の降る中でしたが、草刈り、ゴミ拾い、木材チップ敷きなどのボランティア活動を行いました。（社会貢献の森の名称は「旭川森人の会」といいます）



当署からは署長、総括森林整備官、地域業務対策官が来賓として参加し、署長の挨拶、総括森林整備官から安全指導を行ったあと、各作業を開始しました。

外国樹種見本林には「三浦綾子文学記念館」が隣接しており、旭川市の観光名所として紹介されるなど、観光スポットとして注目されています。同見本林はJR旭川駅からほど近く、外国人観光客も訪れる人気スポットの1つで、今回のボランティア活動による整備できれいになった歩道を気持ちよく散策できることと思います。

